

- 商品活動は、仲間づくりとともにコープの基礎となる活動です。
商品へかかわる多様な場づくりに努め、情報を大切にします。
- 商品活動は、商品へのかかわりを通して暮らしをより豊かにする活動です。
商品活動を通じて健康な食生活を推進するとともに、「人－社会－自然の調和」を視点とした社会性のある消費がすすむことを大切にします。
- 商品を通じて暮らしのあり方や社会の問題を学び、考え、話し合う活動です。
消費の変化を否定するのではなく、消費者自らが社会の進歩的側面を活かして商品選択のモノサシや価値観を持てるための活動をすすめます。

(2) 商品活動で大切にすること

- ① より多くの組合員参加
様々なくらしや考え方の違いを認め、より多くの組合員参加がすすむことを大切にします。
- ② 正確な情報に基づく科学性の追求
コープは事業を伴う消費者運動であり、「批判するだけ」「評論するだけ」にとどまる運動ではありません。
私たちコープでは、憶測や周囲の対応に影響されることなく、事実に基づく正確な対応や情報提供に努め、過剰反応や誇張表現に注意しなければなりません。もちろん、このことは組合員に対する正しい情報の提供と理解が大切です。
- ③ 商品を通じた社会への積極的な発言
商品が抱えている様々な社会的な問題（安全、価格、環境、福祉、国内産業・農業等）に対し、商品を通してコープの主張を行い組合員に理解を広げます。
- ④ 赤字を出さない、商品提供の経済性の重視
組合員の商品に対する要求は、経済的な裏付けのある事業となってこそ実現されます。経済的な裏付けのない「安全」も「価格」も「環境課題」も持続可能な運動にはならず、しかも広がりもありません。
このことは組合員と職員のお互いが本意を理解しあえるコミュニケーションを大切にすすめることが重要です。

3. 商品供給事業

(1) 商品供給事業の目的

- ① コープはふだんの生活に必要な商品を組合員に提供することで、組合員のくらしに役立ちます。
組合員のニーズはそれぞれです。ふだんのくらしに必要な商品を取り扱わない

ことは、選択の自由を損なうことにつながります。コープは豊かな品揃えの中から、くらしにあわせて商品を選んでいただくことを大切にします。

- ② 商品が持っている様々な社会的な問題に対して、商品を通してコープ組合員の願いを明らかにし組合員に広く理解を広げ、より良い社会を作っていきます。
- ③ 商品供給事業を強めることでコープの組織を強め広げます。また、仲間づくりの広がり商品供給事業を強め支えます。
- 組合員のコープでの利用が高まれば高まる程、組合員のくらしがより「健康的な食生活」「環境に配慮したくらし」に近づけるような商品提供をすすめます。
- 「健康的な食生活」と「環境に配慮したくらし」は、組合員同士で商品を通じて「学び合い」「伝え合う」商品活動のテーマでもあります。

(2) 商品供給事業で大切にすること

- ① 組合員の満足度を最大にするよう努めます。

組合員が地域社会の一員として、組合員であることを誇りに思えるように努力します。満足の度合を規定するのは商品の使用価値とそれに見合う適切な価格、品揃え、サービスや対応です。

常に組合員の利益のために商品の品質向上や価格引き下げの努力の取り組みを行うとともに、社会性（福祉の視点・環境への配慮等）の視点を大切にします。

- ② 常に組合員の声を聴き、お知らせを大切にします。

組合員が期待するものは、商品に関する正確な情報が伝えられ、しかも必要な時に必要な商品が最良の状態で利用できることです。常に組合員の声に耳を傾け、生活や意識の変化を正確に把握するように努めます。

商品のお申し出には、供給者責任の立場から品質保証を含め適切な対応を行います。

- ③ 低価格を維持しつつ適正利益を確保します。

不断の経営努力により、コープで扱う商品を低価格で供給できる体質を維持します。

コープの事業は「非営利」ですが、組合員の利益とくらしへの貢献度を高めるために「適正な利益の確保」は不可欠です。

- ④ 取引先の理解と支持を広げ、協力関係を強めます。

事業を継続的に発展させるためには、取引先との協力関係が不可欠です。コープの理念と組合員要求について、取引先の理解を広げていくように努めます。